

令和2年度  
知床半島先端部地区利用状況調査業務  
報告書



令和2（2020年）12月  
公益財団法人 知床財団



## 報告書概要

### 1) 業務名

令和2年度知床半島先端部地区利用状況調査業務

### 2) 業務目的

知床半島先端部地区（以下、「先端部地区」という。）は極めて原始性の高い自然環境と豊富な野生動物によって形成される多様な生態系が残されている地域であり、利用のための施設が設けられていないなど、一般の利用者による積極的な利用は想定されていない。一方で、知床ならではの質の高い自然体験の機会を求めて多様な利用者が訪れる場所でもあり、適正な利用と保全を図ることが必要である。

本業務は、知床国立公園の適正な利用の推進に必要なデータを収集するため、先端部地区を利用しているトレkkerやカヤッカーなどの動向を調査した。

### 3) 業務実施体制

本業務は、環境省からの請負業務として、公益財団法人知床財団が実施した。

### 4) 実施概要

#### (1) 船舶調査

船舶を使用した聞き取り調査は、カラフトマス釣りの瀬渡し船を利用し、8月5日、6日、19日および20日に実施した。調査場所は滝の下およびペキンの浜である。また、海況等の理由により船舶が出航できない場合の補足調査として、8月1日、2日および4日に徒歩で聞き取りを行った。聞き取り項目は、パーティの人数、年代、アクセス方法、目的地、行動予定、ヒグマ対策の状況、知床世界自然遺産ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、利用の心得およびシレココの認知状況である。その結果、4組4名から情報を得た。

## (2) 入域調査

先端部地区の入り口である相泊での聞き取り調査は、7月21日から25日の連続した5日間で行った。調査項目は船舶調査と同様であり、27組60名から情報を得た。

## (3) 結果とりまとめ

### 3-1. 令和2(2020)年度 船舶調査及び入域調査 取りまとめ

令和2(2020)年度の船舶調査及び入域調査において聞き取った組数および人数は、31組64名であった。特筆する事項としては、ヒグマ対策をしていた組数は27組中21組であり77.8%が対策を講じていた。また、ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況では、立ち寄った組数は27組中12組であり、55.6%が立ち寄っていなかった。さらに、利用の心得及びシレココの認知状況は「知っている」と回答した組数は24組中17組と70.8%であり、半数の認知があった。

### 3-2. 2011年から2020年までの船舶調査 取りまとめ

先端部利用者の動向を把握するための聞き取り調査は、2011年から毎年実施されており、2020年までに計60組190名から回答を得ている。特筆する事項としては、ヒグマ対策をしていた組数は59組中50組であり84.7%が対策を講じていた。また、ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況では、立ち寄った組数は58組中20組であり、65.5%が立ち寄っていなかった。さらに、利用の心得及びシレココの認知状況は「知っている」と回答した組数は58組中45組と77.6%であり、半数以上に認知されていた。

## 目次

はじめに .....	1
1. 船舶調査 .....	2
2. 入域調査 .....	10
3. 調査結果の取りまとめ .....	21
3-1. 令和 2 (2020) 年度 船舶調査及び入域調査の取りまとめ .....	21
3-2. 2011 年から 2020 年までの船舶調査 取りまとめ .....	26
4. その他 .....	34
5. まとめ .....	37

## 添付資料

1. 知床半島先端部地区利用状況調査 船舶調査及び徒歩調査の実施データ
2. 知床半島先端部地区利用状況調査 入域調査の実施データ



## はじめに

先端部地区は極めて原始性の高い自然環境と豊富な野生生物によって形成される多様な生態系が残されている地域であり、利用のための施設が設けられていないなど、一般の利用者による積極的な利用は想定されていない。一方で、知床ならではの質の高い自然体験の機会を求めて多様な利用者が訪れる場所でもあり、適正な利用と保全を図ることが必要である。

環境省では、原始性の高い自然環境の保全と質の高い自然体験機会の提供を両立するため、レクリエーションを目的として先端部地区を利用する際のルール「知床半島先端部地区利用の心得」（以下、「利用の心得」という。）を定めるとともに、ルサフィールドハウス等の施設で先端部地区利用者へのレクチャーを実施している。さらに、知床半島先端部地区利用の心得 Web サイト通称「シレココ」（以下、「シレココ」という。）を作成し普及活動に努めるなど、自然環境の保全を前提とした適切な先端部地区の利用を推進してきた。一方で近年、利用状況の変化や利用ニーズの多様化が指摘されており、実態を把握するための調査を行う必要性が高まってきている。

本業務は、知床国立公園の適正な利用の推進に必要な基礎データを収集するため、先端部地区利用者のトレッカーおよびカヤッカーの動向の調査を実施し、結果についてまとめたものである。

## 1. 船舶調査

### 目的

先端部地区では、トレッカー等の利用状況を把握するため、2011年以降、立入者の利用形態について調査が行われている。本調査では、例年の調査時期及び調査方法に基づいて先端部地区の利用状況を把握することを目的とし、現地での状況確認と聞き取り調査を実施した。

### 調査方法

- ・調査実施日は、8月5日、6日、19日および20日であり、時間帯は凡そ早朝3時台から10時台までである（表1）。
- ・調査地へはアイドマリ漁港から出船するカラフトマス釣りの瀬渡し船を利用し、当日の目的地であったペキン浜（8月6日、19日、20日）および滝の下（8月5日）で調査を行った（図1、図2、写真1、写真2）。
- ・聞き取り対象者は、羅臼町相泊から知床岬までの海岸トレッキングや、相泊から出艇し斜里町ウトロまでの区間を往来するシーカヤック等による利用者である。
- ・調査項目はパーティの人数、年代、アクセス方法、目的地、行動予定、ヒグマ対策の状況、ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、利用の心得及びシレココの認知状況を基本事項として調査票を作成した。使用した調査票は次ページの通りである（図3-1、図3-2）。
- ・船舶調査の補足として、8月1日、2日および4日に徒歩によりモイレウシ湾において聞き取りを行った（表1、写真3）。

表 1. 船舶調査及び補足で実施した徒歩調査の実施状況

No.	日付	天候	調査箇所	開始時間	終了時間	実施時間	移動手段
1	8月5日	曇り	滝の下	3:40	9:00	5:20	船舶
2	8月6日	曇り	ペキン浜	4:00	10:25	6:25	船舶
3	8月19日	曇り	ペキン浜	4:00	10:00	6:00	船舶
4	8月20日	曇り	ペキン浜	4:00	9:05	5:05	船舶
5	8月1日	曇り	モイレウシ湾	12:20	18:40	6:20	徒歩
6	8月2日	晴	モイレウシ湾	4:00	9:00	5:00	徒歩
7	8月4日	曇り	モイレウシ湾	12:00	13:00	1:00	徒歩



図 1. 令和 2(2020)年 8 月 5～20 日に船舶を利用し、聞き取り調査を実施した場所（滝の下）及び日時



写真1. 滝の下の聞き取り調査地点(赤丸地点で実施)



図2. 令和2(2020)年8月5~20日に船舶及び徒歩を利用し、聞き取り調査を実施した場所(モイレウシ湾、ベキン浜)及び日時



写真2. ペキン浜の聞き取り調査地点（赤丸地点で実施）



写真3. モイレウシ湾の聞き取り調査地点（赤丸地点で実施）

日時：2020年 月 日【 : ~ : 】天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：ヒアリング・目視

パーティの人数	人(男: )人(女: )人
年代	10代( )人・20代( )人・30代( )人・40代( )人・50代( )人 60代( )人・その他( )人・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: 】・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー・フードコンテナ・くまらず )・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

図 3-1. 船舶調査及び補足で実施した徒歩調査の調査用紙(表面)

クマ情報	
利用者指導	
不適切な利用 (たき火・ゴミの投棄・番屋 への宿泊・釣り魚の投棄な ど)	

図 3-2. 船舶調査及び補足で実施した徒歩調査の調査用紙(裏面)

## 結果

- 船舶により 1 組 1 名、補足の徒歩調査により 3 組 3 名の計 4 組 4 名から回答を得た（表 2）。
- 年代は 40 代から 60 代までの中高年層が回答を占めた。
- 回答を得た 4 組全てが知床岬を往復するトレッキングであった。
- ヒグマ対策については、4 組中 3 組がクマ撃退スプレー（以下、「クマスプレー」という。）を所持しており、ヒグマ対策無しの 1 組は、ルサフィールドハウスでクマスプレーを借りたものの、車に置き忘れてしまい出発したという理由で所持していなかった。
- 回答を得た 4 組ともにルサフィールドハウスへ立ち寄り、利用の心得及びシレコについても認知していた。

表 2. 船舶調査及び徒歩調査の結果

No.	日付	聞き取り時刻	聞き取り場所	移動手段	パーティ数 (人)	年代	アクセス方法	目的地	行動予定	ヒグマ対策 の状況			ヒグマ対策を実施した 利用者の装備品				ルサフィールドハウス 立寄り状況			利用の心得・シレココの認知			
										あり	なし	不明	クマスプレー	くまず	笛	無	不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	8月5日	5:50~5:59	滝の下	船舶	1	50代	トレッキング	岬	2泊3日	○		○			○			○			○		
2	8月1日	12:20~12:25	モイレウシ湾	徒歩	1	60代	トレッキング	岬	2泊3日	○		○	○		○			○			○		
3	8月4日	10:35~10:45	モイレウシ湾	徒歩	1	50代	トレッキング	岬	2泊3日	○		○			○			○			○		
4	8月4日	12:00~12:10	モイレウシ湾	徒歩	1	40代	トレッキング	岬	2泊3日		○				○			○			○		
					5					3	1	3	1	3	1	4	4						

## 2. 入域調査

### 目的

2011 年度から継続実施された船舶による調査手法と比較検討し、より効率的な情報収集を実現し、また船舶が出航しない悪天時における利用状況も把握することを目的とし、先端部地区の入域地点である相泊での状況確認と聞き取り調査を実施した。

### 調査方法

- ・調査実施日は7月21日から25日の5日間で、時間帯は午前4時から午後6時までであり、調査員は午前4時から10時、午前10時から午後6時で入れ替り実施した（表3）。
- ・聞き取り対象者と調査項目は、船舶調査と同じ内容で実施した。
- ・環境省担当官と協議の上、林野庁が設置した入林箱周辺で調査を実施した（図4、写真3）。

### 全体の結果

- ・計27組60名から回答を得た（表4）。

表3. 入域調査の実施日と実施時間

No	日付	天候	場所	開始時間	終了時間	実施時間
1	7月21日	晴				
2	7月22日	雨				14時間
3	7月23日	雨	相泊	4:00	18:00	5日間
4	7月24日	雨				の合計
5	7月25日	晴				計70時間



図4. 入域調査で実施した日時と調査地点(赤丸、聞き取り場所)



写真3. 相泊で行った入域調査の箇所(赤丸地点で実施)

表 4. 入域調査の聞き取り結果

No.	日付	パーティ数 (人)	年代	アクセス方法	目的地	行動予定	ヒグマ対策の状況			ヒグマ対策を実施した利用者の装備品					ルサフィールドハウスの 立寄り状況			利用の心得・シレココの 認知状況		
							あり	なし	不明	クマスプレー	フードコンテナ	くまらず	笛	ナイフ	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	7月21日	1	40代	トレッキング	知床沼	日帰り	○		○						○			○		
2	7月21日	1	30代	トレッキング	岬	1泊2日または2泊3日	○				○					○				○
3	7月22日	1	60代	トレッキング	その他（単独では怖いので、誰かと一緒に行きたい。）	不明			○							○				○
4	7月22日	1	50代	トレッキング	岬	3泊4日	○		○	○	○				○				○	
5	7月22日	1	30代	トレッキング	岬	3泊4日	○		○	○	○				○				○	
6	7月23日	2	30代	トレッキング	ウナキベツ川	2泊3日	○		○							○				○
7	7月23日	1	40代	トレッキング	岬	無	○					○				○				○
8	7月24日	2	30代,40代	トレッキング	岬	2泊3日 (2泊とも滝ノ下)	○		○	○	○				○					○
9	7月24日	2	30代,60代	トレッキング	知床岳	2泊3日 予備日一日	○		○	○						○				○
10	7月25日	3	20代,30代	トレッキング	ベキンノ鼻	1泊2日 (ベキン宿泊)	○		○	○	○				○					○
11	7月25日	1	40代	トレッキング	念仏岩	2泊3日 (モイレウシ宿泊)	○			○	○				○					○
1	7月21日	1	60代	シーカヤック	モイレウシかベキンノ鼻	日帰り	○		○							○				○
2	7月21日	2	50代	シーカヤック	半島周回（ウトロ出発）	2泊3日	○		○							○				○
3	7月23日	2	60代	シーカヤック	岬	3泊4日	○		○							○				○
4	7月23日	5	30代,40代,60代,70代	シーカヤック	半島一周	3泊4日	○		○							○				○
5	7月25日	14	30代,40代,50代,60代,70代	シーカヤック	岬	1泊2日 (相泊宿泊)	○		○						○					○
6	7月25日	3	30代,40代,50代	シーカヤック	相泊周辺でセーリング カヌーの体験	無			○						○					○
1	7月21日	2	30代	釣り	カモイウンベ川	日帰り	○		○							○				○
2	7月23日	3	不明	釣り	その他：魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無			○							○				○
3	7月23日	1	30代	釣り	その他：魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無	○				○					○				○
4	7月23日	1	40代	釣り	クズレハマ川	無		○								○				○
5	7月23日	2	60代	釣り	その他（相泊漁港からホッケ釣船で）	不明			○							○				○
6	7月24日	2	60代	釣り	不明	不明			○							○				○
7	7月24日	1	40代	釣り	相泊	無			○							○				○
8	7月24日	1	50代	釣り	クズレハマ川、カモイウンベ川	無	○						○			○				○
9	7月25日	2	30代	釣り	相泊より羅白側	無			○							○				○
10	7月25日	2	50代	釣り	相泊	無			○							○				○
27		60					15	5	4	13	6	7	1	1	8	15	4	13	7	7

### 利用者の1組当たりの人数

・1人の利用者が最も多く12組であり、全体の44.4%であった(図5)。次いで2人が10組であり、37.0%であった。1組1名あるいは1組2名での利用で27組中22組であり、81.4%を占めた。

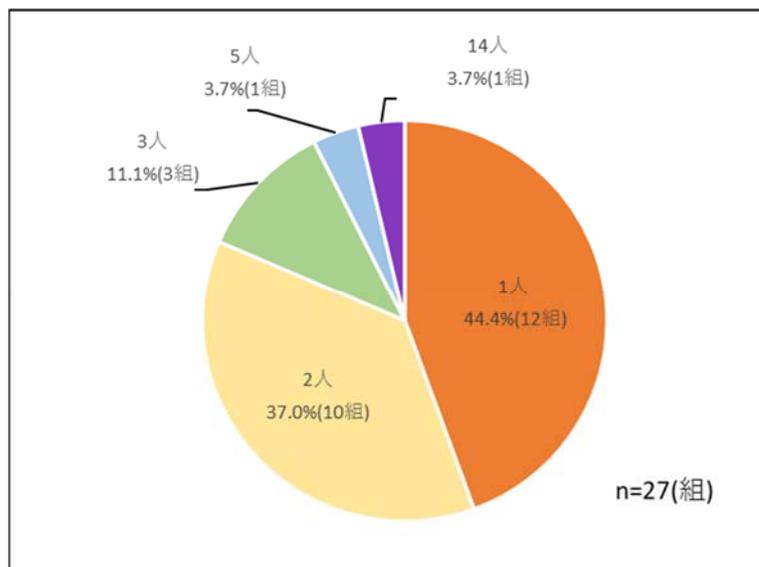


図5. 1組あたりの人数の割合

### 年代別の利用者数

- ・年代別の人数は、30代が最も多く 23 名であった（図 6）。次いで 40 代と 60 代が共に 11 人、50 代が 9 人であった。聞き取りを行った利用者の大部分が 30～60 歳代であった。

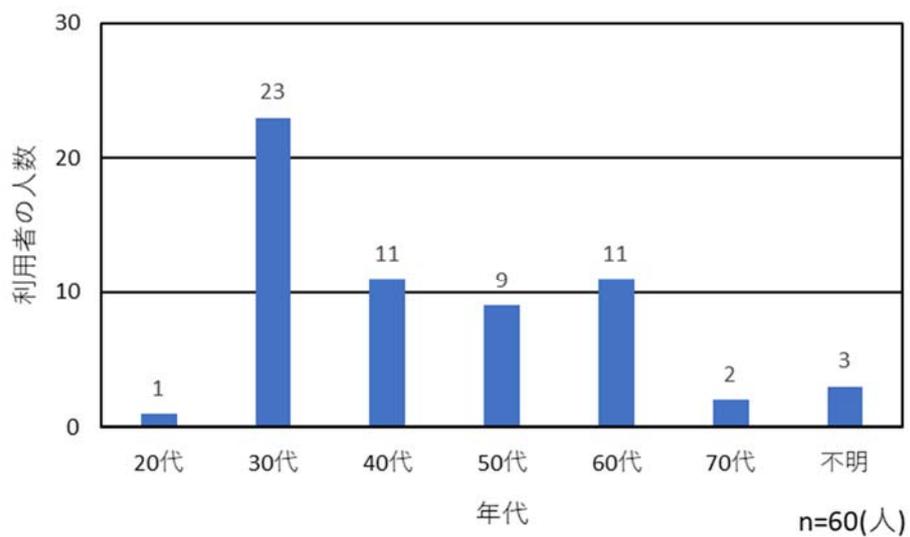


図 6. 利用者の年代（人数）

### アクセス方法（利用形態）

- ・トレッキングは27組中11組と最も多く、全体の40.7%であった。次いで釣りが10組（37.0%）、シーカヤックが6組（22.2%）であった（図7）。

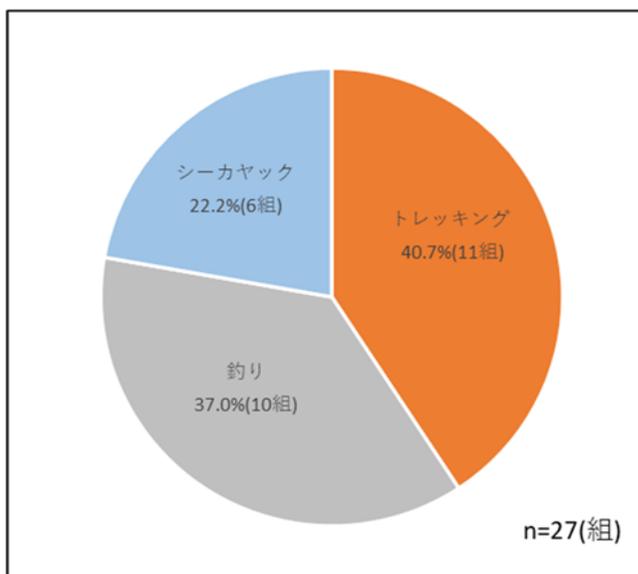


図7. アクセス方法（利用形態）の割合

## 目的地別の結果

- ・目的地は知床岬が最も多く7組22名であり、知床沼または知床岳方面が2組3名であった。それ以外の18組の目的地は全て異なっていた(表4)。

## 行動予定の結果

- ・行動予定については、2泊が最も多い5組、次いで3泊が4組という結果となった(表5)。
- ・行動予定が「無」の利用者は、日帰りにも当てはまらない利用者であり、全て釣りの利用者であった。
- ・行動予定が「不明」の利用者は、調査に協力的でなかったため、聞くことができなかった者を指し、主に釣りの利用者である。

表 5. 利用者の行動予定の組数

行動予定地	
日帰り	3
1泊	2
2泊	5
3泊	4
無	9
不明	3
1泊また2泊	1
	27

## ヒグマ対策の状況

- ・ヒグマ対策の有無については 27 組に聞き取りを行い、23 組から回答を得た（図 8）。その結果、23 組中 18 組（78.3%）が対策を講じており、5 組（21.7%）が講じていなかった。

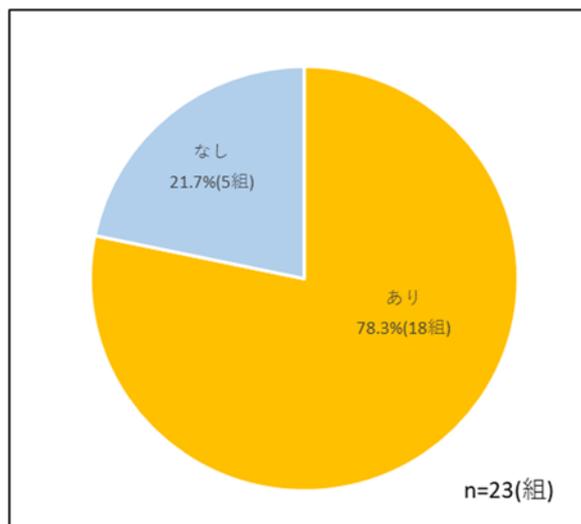


図 8. ヒグマ対策の状況

- ・また、「あり」と回答した利用者について、ヒグマ対策の聞き取りを行った。実施した 18 組の内訳は、クマスプレーのみが 18 組中 8 組、クマスプレー・フードコンテナ・くますず一式が 18 組中 4 組、クマスプレーとフードコンテナ一式、笛、ナイフがそれぞれ 18 組中 1 組ずつであった。
- ・上記 18 組の装備品を更にクマスプレー、フードコンテナ、くますず、笛、ナイフ、の 5 品目に分け、以下の表を作成した（表 6）。全部で 28 組となり、クマスプレーが 28 組中 13 組、次いでくますずが 28 組中 7 組、フードコンテナが 28 組中 6 組であった。

表 6. ヒグマ対策を実施している利用者の装備品

先端部利用者がヒグマ対策で携帯した道具の割合	
クマスプレー	13組(46.4%)
くますず	7組(25.0%)
フードコンテナ	6組(21.4%)
笛	1組(3.6%)
ナイフ	1組(3.6%)
合計	28組

※回答組数は重複を含む

### ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無

- ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無の割合については、27組に聞き取りを行い、23組から回答を得た。その結果、23組中8組（34.8%）が立ち寄り、15組（65.2%）が立ち寄っていなかった（図9）。

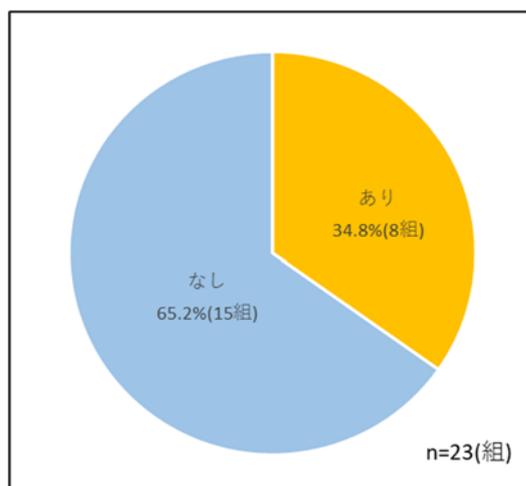


図9. ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況

### 利用の心得の認知状況

- ・利用の心得及びシレココの認知状況の割合については、27組に聞き取りを行い、20組から回答を得た。その結果、20組中13組（65.0%）が知っており、7組（35.0%）が知らなかった(図10)。

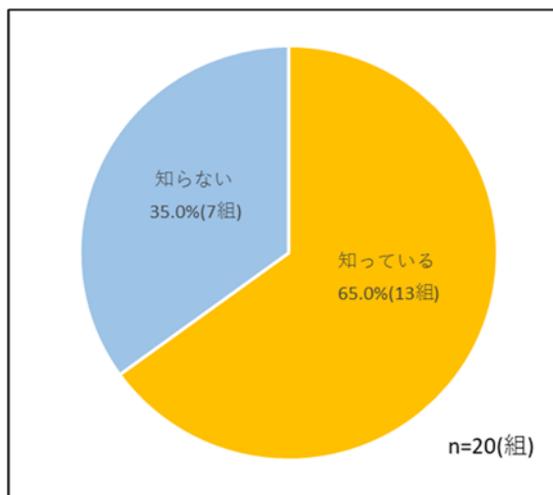


図 10. 利用の心得及びシレココの認知状況の割合

### 3. 調査結果の取りまとめ

#### 3-1. 令和2(2020)年度 船舶調査及び入域調査の取りまとめ

##### 目的

船舶調査（補足の徒歩調査を含む）で回答を得た4組及び入域調査で回答を得た27組の計31組の情報を取りまとめ、今年度におけるトレッカーやカヤッカー等の利用者の動向の把握を試みた。

##### 全体の結果

- ・年代は20代から70代までの幅広い層が回答を占めた。
- ・アクセス方法（利用形態）は、全体の31組中15組がトレッキング、次いで釣りが10組、シーカヤックが6組であった。
- ・ヒグマ対策の状況では「あり」と回答した組数は21組、「なし」が6組、「不明」が4組であった。
- ・ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況では「あり」と回答した組数は9組、「なし」が15組、「不明」が4組であった。
- ・利用の心得及びシレココの認知状況では「知っている」と回答した組数は14組、「知らない」が7組、「不明」が7組であった。

## <利用形態別のとりまとめ>

### トレッキング利用者の聞き取り結果

船舶調査と入域調査におけるトレッキング利用者からの聞き取り結果を以下に記す（表7）。

- ・計 15 組（17 名）から回答を得た。
- ・年代は、20 代から 60 代の幅広い年代が利用していた。
- ・目的地は知床岬が最も多く 9 組、次いで知床沼・知床岳方面が 2 組。ウナキベツ川、ペキンノ鼻、念仏岩、その他が 1 組ずつであった。
- ・行動予定については、2 泊 3 日が最も多く 8 組、次いで 3 泊 4 日が 2 組。日帰り、1 泊 2 日、1 泊または 2 泊（聞き取り時未定）、不明、なし、がそれぞれ 1 組ずつであった。
- ・ヒグマ対策の状況で、「あり」と回答したのが 13 組、「なし」が 5 組であった。
- ・ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無について、「あり」と回答したのが 10 組、「なし」が 5 組であった。
- ・利用の心得及びシレココの認知状況は、「知っている」と回答したのが 12 組、「知らない」が 1 組、「不明」が 2 組であった。

表 7. 船舶調査及び入域調査のトレッキング利用者の結果一覧

No.	日付	パーティ 数 (人)	年代	調査の仕方	目的地	行動予定	ヒグマ対策の状況			ルサフィールドハウスの 立寄り状況			利用の心得・シレココの 認知状況		
							あり	なし	不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	7月21日	1	40代	入域調査	知床沼	日帰り	○			○			○		
2	7月21日	1	30代	入域調査	岬	1泊2日または2泊3日	○			○					○
3	7月22日	1	60代	入域調査	その他 (単独では怖いので、誰かと一緒に行きたい。)	不明			○	○					○
4	7月22日	1	50代	入域調査	岬	3泊4日	○			○					○
5	7月22日	1	30代	入域調査	岬	3泊4日	○			○					○
6	7月23日	2	30代	入域調査	ウナキベツ川	2泊3日	○			○					○
7	7月23日	1	40代	入域調査	岬	無	○			○					○
8	7月24日	2	30代,40代	入域調査	岬	2泊3日 (2泊とも滝ノ下)	○			○					○
9	7月24日	2	30代,60代	入域調査	知床岳	2泊3日 予備日一日	○			○					○
10	7月25日	3	20代,30代	入域調査	ベキンノ鼻	1泊2日 (ベキン宿泊)	○			○					○
11	7月25日	1	40代	入域調査	念仏岩	2泊3日 (モイレウシ宿泊)	○			○					○
12	8月1日	1	60代	徒歩調査	岬	2泊3日	○			○					○
13	8月4日	1	50代	徒歩調査	岬	2泊3日	○			○					○
14	8月4日	1	40代	徒歩調査	岬	2泊3日			○	○					○
15	8月5日	1	50代	船舶調査	岬	2泊3日	○			○					○
							20	13	1	1	10	5	12	1	2

### シーカヤック利用者の聞き取り結果

- ・計6組（27名）から回答を得た（表8）。
- ・年代は、30代から70代の幅広い年代が利用していた。
- ・目的地は、半島周回と知床岬がそれぞれ2組、次いでモイレウシ、ペキンノ鼻、相泊が1組ずつであった。
- ・ヒグマ対策の状況で、「あり」と回答したのが5組であり、多くが対策を講じての利用であった。
- ・ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無について、「あり」と回答したのが2組、「なし」が4組であった。
- ・利用の心得及びシレココの認知状況は、「知っている」と回答したのが5組、「知らない」が1組であった。

表8. 船舶調査及び入域調査のシーカヤック利用者の結果一覧

No.	日付	パーティ数(人)	年代	調査の仕方	目的地	行動予定	ヒグマ対策の状況			ルサフィールドハウスの立寄り状況			利用の心得・シレココの認知状況			
							あり	なし	不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明	
1	7月21日	1	60代	入域調査	モイレウシかペキンノ鼻	日帰り	○			○						
2	7月21日	2	50代	入域調査	半島周回(ウトロ出発)	2泊3日	○			○				○		
3	7月23日	2	60代	入域調査	岬	3泊4日	○			○				○		
4	7月23日	5	30代,40代,60代,70代	入域調査	半島一周	3泊4日	○			○				○		
5	7月25日	14	30代,40代,50代,60代,70代	入域調査	岬	1泊2日 (相泊借泊)	○			○				○		
6	7月25日	3	30代,40代,50代	入域調査	相泊周辺でセーリングカヌーの体験	無			○	○				○		
27							5		1	2		4		5		1

## 釣り利用者の動向

- ・計 10 組（17 名）から回答を得た（表 9）。
- ・目的地は、相泊とその他（相泊周辺で釣れる場所の確認、相泊から釣り船に乗るまでの時間潰し）が最も多く 3 組、次いでカモイウンベ川、クズレハマ川、カモイウンベ川及びクズレハマ川、不明、が 1 組ずつであった。
- ・ヒグマ対策の状況で、「あり」と回答したのが 3 組、「なし」が 5 組、「不明」が 2 組であった。
- ・ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無について、10 組中 6 組が立ち寄っておらず、不明が 4 組であった。釣り利用者は、ルサフィールドハウスを積極的に活用していないものと推測される。
- ・利用の心得及びシレココの認知状況は、「知っている」と回答したのが 0 組、「知らない」と「不明」がそれぞれ 5 組ずつであった。

表 9. 船舶調査及び入域調査の釣り利用者の結果一覧

No.	日付	パーティ数 (人)	年代	調査の仕方	目的地	行動予定	ヒグマ対策の状況			ルサフィールドハウスの立ち寄り状況			利用の心得・シレココの認知状況		
							あり	なし	不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	7月21日	2	30代	入域調査	カモイウンベ川	日帰り	○				○			○	
2	7月23日	3	不明	入域調査	その他：魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無		○			○			○	
3	7月23日	1	30代	入域調査	その他：魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無	○			○			○		
4	7月23日	1	40代	入域調査	クズレハマ川	無	○			○			○		
5	7月23日	2	60代	入域調査	その他（相泊漁港からホッケ釣船で）	不明	○			○			○		
6	7月24日	2	60代	入域調査	不明	不明		○		○			○		
7	7月24日	1	40代	入域調査	相泊	無	○			○			○		
8	7月24日	1	50代	入域調査	クズレハマ川 カモイウンベ川	無	○			○			○		
9	7月25日	2	30代	入域調査	相泊より羅臼側	無	○			○			○		
10	7月25日	2	50代	入域調査	相泊	無	○			○			○		
							17	3	5	2	6	4	5	5	

## 3-2. 2011 年から 2020 年までの船舶調査 取りまとめ

### 目的

知床半島先端部地区利用状況調査は、海岸トレッキングルート上の利用拠点で先端部利用者の動向を把握するために 2011 年から 10 年間にわたり継続して行われてきた。本調査分を含め、過年度分を取りまとめて利用状況の経年変化を把握することで、今後の適正な利用の推進及び調査手法の効率化に繋げることを目的としている。

### 調査方法

- ・ 2011 年から 2020 年までの 10 年分の船舶調査結果をみると、年により情報の多少が激しく、動向を読み取ることが困難であった。そこで、2011 年から 2015 年、および 2016 年から 2020 年のそれぞれ 5 カ年分をまとめ、凡その傾向の把握を試みた。
- ・ 全ての調査年で共通している聞き取り項目は「パーティの人数、アクセス方法、目的地、行動予定、ヒグマ対策の状況、ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、利用の心得及びシレココの認知状況」であったため（表 10）、これらの 7 項目について比較を行った。
- ・ 2011 年から 2015 年に 31 組 105 名、2016 年から 2020 年にかけて 29 件 85 名の計 60 件 190 名から回答を比較に用いた（表 11）。

表 10. 過年度別の調査項目の一覧と過年度の聞き取り数(組)

調査実施年	共通項目	その他	聞き取り数(組)
2011	パーティーの人数、アクセス方法、目的地、行動予定、ヒグマ対策の状況、ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、利用の心得及びシレココの認知状況	宿泊場所、利用者が残した痕跡、クマの目撃情報、知床に関するホームページ等で知りたい情報等	9
2012		特になし	9
2013			2
2014			9
2015			2
2016			9
2017			1
2018		年代	7
2019			8
2020			4

60

表 11. 過年度の船舶調査の結果一覧

No.	日付	パーティ 人数	アクセス方法	ヒグマ対策の状況			ヒグマ対策を実施した利用者の装備品						ルサフィールドハウスの立寄り状況			利用の心得・シレココの認知状況				
				あり	なし	不明	クマスブレ	フードコンテナ	くますず	笛	ラジオ	鉈	轟音玉	道具不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	2011.8.5	3	トレッキング	○			○		○					○			○			
2	2011.8.12	9	トレッキング	○			○		○	○	○		○			○				
3	2011.8.12	2	トレッキング	○			○		○							○				
4	2011.8.12	2	プレジャーボート		○													○		
5	2011.8.13	2	トレッキング			○									○			○		
6	2011.8.14	7	観光船		○									○				○		
7	2011.8.14	7	漁船		○									○				○		
8	2011.8.22	3	トレッキング	○			○				○					○				
9	2011.8.23	4	ヨット		○									○				○		
10	2012.7.28	2	トレッキング	○						○				○				○		
11	2012.8.3	2	トレッキング	○						○				○				○		
12	2012.8.12	3	トレッキング	○			○			○				○				○		
13	2012.8.12	2	トレッキング(帯りは船)	○						○				○				○		
14	2012.8.14	6	トレッキング(帯りは船)	○						○				○				○		
15	2012.8.14	3	トレッキング(帯りは船)	○			○			○				○				○		
16	2012.8.15	3	トレッキング(帯りは船)	○						○				○				○		
17	2012.8.25	5	トレッキング	○			○			○				○				○		
18	2012.8.26	2	トレッキング	○						○				○				○		
19	2013.8.9	3	シーカヤック	○			○			○				○				○		
20	2013.8.13	2	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
21	2014.8.2~30	2	トレッキング	○					○	○				○				○		
22	2014.8.2~30	2	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
23	2014.8.2~30	2	トレッキング	○					○	○				○				○		
24	2014.8.2~30	3	トレッキング	○					○	○				○				○		
25	2014.8.2~30	3	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
26	2014.8.2~30	4	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
27	2014.8.2~30	6	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
28	2014.8.2~30	6	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
29	2014.8.2~30	1	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
30	2015.8.11~31	3	シーカヤック	○			○		○	○				○				○		
31	2015.8.11~31	1	シーカヤック	○			○		○	○				○				○		
32	2016.8.11	2	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
33	2016.8.11	3	シーカヤック	○					○	○				○				○		
34	2016.8.12	3	シーカヤック	○					○	○				○				○		
35	2016.8.12	1	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
36	2016.8.13	1	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
37	2016.8.13	4	シーカヤック	○					○	○				○				○		
38	2016.8.13	3	シーカヤック	○					○	○				○				○		
39	2016.8.14	2	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
40	2016.8.14	1	トレッキング	○					○	○				○				○		
41	2017.8.14	2	ゴムボート		○									○				○		
42	2018.7.14	10	トレッキング	○					○	○				○				○		
43	2018.8.14	1	トレッキング		○									○				○		
44	2018.8.14	2	トレッキング	○					○	○				○				○		
45	2018.8.15	2	トレッキング		○									○				○		
46	2018.8.16	1	トレッキング	○										○				○		
47	2018.8.18	2	トレッキング		○									○				○		
48	2018.8.18	8	シーカヤック	○			○							○				○		
49	2019.7.17	3	トレッキング	○			○			○				○				○		
50	2019.7.23	1	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
51	2019.8.1	2	トレッキング	○										○				○		
52	2019.8.5	12	シーカヤック	○			○							○				○		
53	2019.8.15	6	トレッキング	○										○				○		
54	2019.8.16	2	トレッキング	○										○				○		
55	2019.8.18	2	トレッキング	○			○							○				○		
56	2019.8.19	5	トレッキング	○					○	○				○				○		
57	2020.8.1	1	トレッキング	○			○		○	○				○				○		
58	2020.8.4	1	トレッキング	○			○			○				○				○		
59	2020.8.4	1	トレッキング		○									○				○		
60	2020.8.5	1	トレッキング	○			○			○				○				○		
		190		50	9	1	29	3	35	6	2	1	1	5	20	38	2	46	12	2

## アクセス方法（利用形態）の結果

- ・2011年から2015年までの間では、トレッキングの利用が最も多く全体の64.5%(20組)であり、次いでトレッキング(帰路に船を利用)が12.9%(4組)、シーカヤックが9.7%(3組)であった(表13)。なお、利用の心得に反する不適切な利用も確認され、観光船(2011年)・漁船(2011年)・プレジャーボート(2011年)・ヨット(2011年)による上陸がそれぞれ1組(3.2%)ずつであった(表12)。
- ・2016年から2020年までの間では、トレッキングの利用が最も多く全体の75.9%(22組)であり、次いでシーカヤックが20.7%(6組)であった(表12)。不適切な利用では、エンジン付きのゴムボートによる上陸(2017年)が1組確認された(表12)。
- ・2011年から2020年までの間では、トレッキングの利用が全体の70.0%(32組)を占めており、次いでシーカヤックが15.0%(9組)といった結果となった。
- ・トレッキングの利用は、2011年から2015年までの間(帰りは船の利用者も含む)で77.4%(24組)、2016年から2020年までの間で75.9%(22組)であり、2016年からの5年間は2011年からの5年間と比較して概ね横ばいであった。
- ・シーカヤックの利用は、2011年から2015年までの間で9.7%(3組)、2016年から2020年までの間で20.7%(6組)であり、2016年からの5年間は2011年からの5年間よりも増加傾向であった。

表12. 過年度の船舶調査のアクセス方法別の結果(2011年から2015年、2016年から2020年まで)

	トレッキング	トレッキング (帰りは船)	シーカヤック	観光船	漁船	プレジャーボート	ヨット	ゴムボート (エンジン付き)
2011~2015	20組(64.5%)	4組(12.9%)	3組(9.7%)	1組(3.2%)	1組(3.2%)	1組(3.2%)	1組(3.2%)	0組(0%)
2016~2020	22組(75.9%)	0組(0%)	6組(20.7%)	0組(0%)	0組(0%)	0組(0%)	0組(0%)	1組(3.4%)
合計	42組(70.0%)	4組(6.7%)	9組(15.0%)	1組(1.7%)	1組(1.7%)	1組(1.7%)	1組(1.7%)	1組(1.7%)

### ヒグマ対策の状況の結果

- ・2011年から2015年までの間で「あり」と回答したのは、全体の83.9%（26組）であり、「なし」が12.9%（4組）、「不明」が3.2%（1組）であった（表13）。
- ・2016年から2020年までの間で「あり」と回答したのは、全体の84.6%（22組）であり、「なし」が15.4%（4組）、「不明」が0%であった（表13）。
- ・ヒグマ対策を実施した利用者は、2011年から2015年までの間で83.9%（26組）、2016年から2020年までの間で82.8%（24組）であり、両年間ともに80%以上と高かった。
- ・ヒグマ対策を実施しなかった利用者は、2011年から2015年までの間で12.9%（4組）であり、2016年から2020年までの間で17.2%（5組）であった。
- ・2011年から2020年まで間では、ヒグマ対策を実施した利用者は84.2%（48組）、実施しなかったのは14.0%（8組）で、不明が1.8%（1組）となった。

表13. 過年度の船舶調査によるヒグマ対策の状況の結果（2011年から2015年、2016年から2020年まで）

ヒグマ対策の状況	あり	なし	不明
2011～2015	26組(83.9%)	4組(12.9%)	1組(3.2%)
2016～2020	24組(82.8%)	5組(17.2%)	0組(0%)
合計	50組(83.3%)	9組(15.0%)	1組(1.7%)

### ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況の結果

- ・2011年から2015年までの間で「あり」と回答したのは、全体の20.9%（9組）であり、「なし」が64.5%（20組）、「不明」が6.5%（2組）であった（表14）。
- ・2016年から2020年までの間で「あり」と回答したのは、全体の26.7%（8組）であり、「なし」が60.0%（18組）、「不明」が13.3%（4組）であった（表14）。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄った利用者は、2011年から2015年までの間で29.0%（9組）であり、2016年から2020年までの間で37.9%（11組）であった。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄らなかった利用者は、2011年から2015年までの間で64.5%（20組）であり、2016年から2020年までの間で62.1%（18組）であった。
- ・2011年から2020年までの間では、ルサフィールドハウスへ立ち寄った利用者は27.9%（17組）立ち寄らなかったのは62.3%（38組）で、不明が9.8%（6組）となった。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄ったトレッキング利用者（帰りは船だった利用者も含む）は、2011年から2015年までの間で29.2%（7組）であり、2016年から2020年までの間で50.0%（1組）であった（表15）。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄らなかったトレッキング利用者（帰りは船だった利用者も含む）は、2011年から2015年までの間で66.7%（16組）であり、2016年から2020年までの間で50.0%（11組）であった。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄ったシーカヤック利用者は、2011年から2015年までの間で66.7%（2組）であり、2016年から2020年までの間で0%（0組）であった（表16）。
- ・ルサフィールドハウスへ立ち寄らなかったシーカヤック利用者は、2011年から2015年までの間で33.3%（1組）であり、2016年から2020年までの間で100%（6組）であった。

表 14. 過年度の船舶調査によるルサフィールドハウスへの立ち寄り状況の結果（2011年から2015年、2016年から2020年まで）

ルサFH立寄り状況	あり	なし	不明
2011～2015	9組(29.0%)	20組(64.5%)	2組(6.5%)
2016～2020	11組(37.9%)	18組(62.1%)	0組(0%)
合計	20組(33.3%)	38組(63.3%)	2組(3.3%)

表 15. 過年度の船舶調査によるトレッキング利用者のルサフィールドハウスへの立ち寄り状況の結果（2011年から2015年、2016年から2020年まで）

トレッキング	あり	なし	不明
2011～2015	29.2%(7組)	66.7%(16組)	4.2%(1組)
2016～2020	50.0%(11組)	50.0%(11組)	0%(0組)
合計	39.1%(18組)	58.7%(27組)	2.2%(1組)

表 16. 過年度の船舶調査によるシーカヤック利用者のルサフィールドハウスへの立ち寄り状況の結果（2011年から2015年、2016年から2020年まで）

シーカヤック	あり	なし	不明
2011～2015	66.7%(2組)	33.3%(1組)	0%(0組)
2016～2020	0%(0組)	100%(6組)	0%(0組)
合計	22.2%(2組)	77.8%(7組)	0%(0組)

### 利用の心得及びシレココの認知状況の結果

- ・ 2011年から2015年までの間で「知っている」と回答したのは、全体の74.2%（23組）であり、「知らない」が22.6%（7組）、「不明」が3.2%（1組）であった（表17）。
- ・ 2016年から2020年までの間で「知っている」と回答したのは、全体の73.1%（19組）であり、「知らない」が23.1%（6組）、「不明」が3.8%（1組）であった（表17）。
- ・ 利用の心得及びシレココを認知している利用者は、2011年から2015年までの間で74.2%（23組）であり、2016年から2020年までの間で75.9%（22組）でありほぼ変わりなかった。
- ・ 利用の心得及びシレココを認知していなかった利用者は、2011年から2015年までの間で22.6%（7組）であり、2016年から2020年までの間で20.7%（6組）であり、ほぼ変わりなかった。

表17. 過年度の船舶調査による利用の心得及びシレココの認知状況の結果(2011年から2015年、2016年から2020年まで)

心得・シレココの認知状況	知っている	知らない	不明
2011～2015	23組(74.2%)	7組(22.6%)	1組(3.2%)
2016～2020	22組(75.9%)	6組(20.7%)	1組(3.4%)
合計	45組(75.0%)	13組(21.7%)	2組(3.3%)

## 4. その他

### 4-1. 不適切な利用

本調査では利用の心得から逸脱した不適切な利用について、「不十分なヒグマ対策」について調査中に6組確認した。いずれも、ヒグマスプレーやフードコンテナ等の装備を持ち合わせていなかった。利用者へは、ヒグマ対策の装備品をルサフィールドハウスでレンタルできることや、手を叩き人の存在をヒグマへ伝えることなどの適切なヒグマ対策の指導を行った。その他の項目（たき火の実施、ゴミの投棄、番屋への宿泊、釣漁の投棄等）については認められなかった。

### 4-2. 難所の状況変化

調査において難所で落石や崩壊等の状況変化は認められなかった。

### 4-3. ヒグマ出没状況

船舶調査及び入域調査におけるヒグマの目撃は6件であり、いずれも単独であった。8月1日が3件と最も多かった。目撃の時間帯は早朝から夕方まで様々であった。目撃場所は、モイレウシ湾が最も多く3件であった。

これらのヒグマ目撃状況については、速やかにルサフィールドハウス及び知床羅臼ビジターセンターへ提供した（表18）。

表 18. 船舶調査及び入域調査中に目撃したヒグマの件数と頭数

No	日付	時間帯	目撃箇所	目撃件数	目撃頭数
1	8月1日	10:30	化石浜	1	1
2	8月1日	15:00	モイレウシ湾南	1	1
3	8月1日	17:30	モイレウシ川右岸	1	1
4	8月3日	4:00	二本滝	1	1
5	8月4日	10:00	モイレウシ湾南	1	1
6	8月20日	9:00	ペキン浜	1	1
				6	6

#### 4-4. 入林簿の記載率

船舶調査及び入域調査中に聞き取り調査をした利用者が入林簿に記載している割合がどの程度か確認した。

入林簿に記載したのは31組中7組(22.6%)であり、記載率は低かった(図11、表19)。

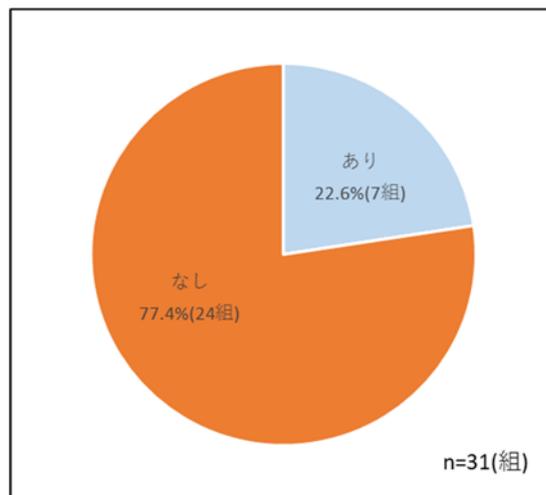


図 11. 入林簿記載の有無 (割合)

表 19. 船舶調査及び入域調査で聞き取りした利用者の入林簿への記載一覧

No.	日付	パーティ数 (人)	入林簿へ記載の有無		年代	アクセス方法	目的地	行動予定	ヒグマ対策の状況			ルサフィールドハウスの立寄り状況			利用の心得・シレココの認知状況		
			あり	なし					あり	なし	不明	あり	なし	不明	知っている	知らない	不明
1	7月21日	1	○		40代	トレッキング	知床沼	日帰り	○		○			○			
2	7月21日	1		○	30代	トレッキング	岬	1泊2日または2泊3日	○			○					○
3	7月21日	1		○	60代	シーカヤック	モイレウシカベキンノ鼻	日帰り	○			○		○			
4	7月21日	2		○	50代	シーカヤック	半島周回(ウトロ出発)	2泊3日	○			○			○		
5	7月21日	2		○	30代	釣り	カモイウンベ川	日帰り	○				○				○
6	7月22日	1		○	60代	トレッキング	その他(単独では怖いので、誰かと一緒に行きたい。)	不明		○		○					○
7	7月22日	1		○	50代	トレッキング	岬	3泊4日	○		○			○			
8	7月22日	1		○	30代	トレッキング	岬	3泊4日	○		○			○			
9	7月23日	2		○	30代	トレッキング	ウナキベツ川	2泊3日	○			○		○			
10	7月23日	1		○	40代	トレッキング	岬	無	○			○		○			
11	7月23日	2		○	60代	シーカヤック	岬	3泊4日	○			○		○			
12	7月23日	5	○		30代,40代,60代,70代	シーカヤック	半島一周	3泊4日	○			○		○			
13	7月23日	3		○	不明	釣り	その他:魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無		○			○				○
14	7月23日	1		○	30代	釣り	その他:魚が釣れる場所を探してここまで来た。	無	○			○			○		
15	7月23日	1		○	40代	釣り	クズレハマ川	無		○		○			○		
16	7月23日	2		○	60代	釣り	その他(相泊漁港からホッケ釣船で)	不明		○			○				○
17	7月24日	2	○		30代,40代	トレッキング	岬	2泊3日(2泊とも滝ノ下)	○			○		○			
18	7月24日	2		○	30代,60代	トレッキング	知床岳	2泊3日 予備日一日	○			○			○		
19	7月24日	2		○	60代	釣り	不明	不明		○			○				○
20	7月24日	1		○	40代	釣り	相泊	無		○		○					○
21	7月24日	1		○	50代	釣り	クズレハマ川、カモイウンベ川	無	○			○			○		
22	7月25日	3	○		20代,30代	トレッキング	ベキンノ鼻	1泊2日(ベキン宿泊)	○			○		○			
23	7月25日	1		○	40代	トレッキング	念仏岩	2泊3日(モイレウシ宿泊)	○			○		○			
24	7月25日	14		○	30代,40代,50代,60代,70代	シーカヤック	岬	1泊2日(相泊宿泊)	○			○		○			
25	7月25日	3		○	30代,40代,50代	シーカヤック	相泊周辺でセーリングカヌーの体験	無		○	○			○			
26	7月25日	2		○	30代	釣り	相泊より羅白側	無		○		○			○		
27	7月25日	2		○	50代	釣り	相泊	無		○		○			○		
28	8月1日	1	○		50代	トレッキング	岬	2泊3日	○			○		○			
29	8月4日	1	○		60代	トレッキング	岬	2泊3日	○			○		○			
30	8月4日	1	○		50代	トレッキング	岬	2泊3日		○		○		○			
31	8月5日	1	○		40代	トレッキング	岬	2泊3日	○			○		○			
		64	8	23					21	6	4	12	15	4	17	7	7

## 5. まとめ

### 調査の手法

2020年度においては、船舶調査は1組1名、徒歩の調査は3組3名から回答を得たことに対し、入域調査では27組60名から回答を得た。実施時間で比較すると、船舶調査は22時間50分、徒歩による調査は12時間20分。一方入域調査は70時間実施しており、調査時間を多く設けた入域調査の方がより多数の回答を得ることができた。調査時間に対する回答率は、船舶調査では0.36組/時間、入域調査では0.38組/時間であり多大な差は無いが、船舶調査は天候等により出艇できない日も多く、結果として聞き取り調査の回数自体が少なくなる傾向がある。また、船舶の利用料が生じる。一方で入域調査は天候に左右されることがなく、悪天時の利用者の動向も含めて確認することができる。また、船舶調査と比較した入域調査の利点として、相泊から早朝に出発するトレッキング、シーカヤック、釣り、全てのアクティビティ利用者から聞き取り調査を実施することができる。

### 令和2(2020)年度 船舶調査及び入域調査

今年度の船舶調査及び入域調査で特筆すべき点は、アクセス方法(利用形態)、ヒグマ対策の状況、ルサフィールドハウスへ立ち寄り状況、利用の心得・シレココの認知状況である。

アクセス方法(利用形態)はトレッキングが15組と最も多く、次いで釣りが10組、シーカヤックが6組であった。このデータから、利用者は海岸トレッキングまたは知床岳方面へのトレッキングの利用が全体の4割を占めていた。

ヒグマ対策の状況は、実施した組数が19組、実施しなかったのが5組、不明が4組となり、対策を実施していた利用者が6割を占めており、半数以上の利用者はヒグマ対策を講じる意識を持っていることが分かる。

ルサフィールドハウスへの立ち寄り状況は、「あり」が9組、「なし」が15組であった。ルサフィールドハウスへ立ち寄らなかった利用者の割合は、全体の6割であり、立ち寄った利用者の割合は3割にとどまった。立ち寄らなかった利用者をアクセス方法(利用形態)別で見ると、釣りが最も多く全体の15組中6組であり、次いでトレッキングが5組、シーカヤックが4組となった。釣り利用の回答者の一部からは、立ち寄らない理由として「知らなかった」「後で寄るつもりだった」があげられており、釣り利用者においてルサフィールドハウスの認知度が低いように思われる。認知度の改善に向けては、立ち寄らない理由も含めて聞き取り調査を行うなど、次回以降調査用紙の記入事項を見直すこと

も検討する。

利用の心得及びシレココの認知状況は「知っている」が17組、「知らない」が7組であった。利用の心得・シレココを認知している利用者の割合は全体の6割に相当し、「知らない」は3割といった結果となった。アクセス方法（利用形態）で見ると、「知っている」と回答した利用者はトレッキングが全体の17組中13組と最も多く、次いでシーカヤックが4組となった。先端部へ入域する前に5割の利用者が利用の心得及びシレココを認知し、先端部を利用している様子が窺えた。

### 過年度の船舶調査との比較

2011年から2020年までに実施された船舶調査は、海岸トレッキング上の主な利用拠点であるモイレウシ湾、ペキン浜、滝の下、二本滝、赤岩、文吉湾の地点へ船舶や徒歩によりアクセスし、利用者への聞き取りが実施されていた。本調査も実際に先端部地区を訪れている利用者へ船舶を利用し聞き取り調査を行ったが、海況等により船舶の出航回数が著しく変化すること、調査実施日の天候の条件が限定的になること、釣り等の利用者への聞き取りが少ないことなど、いくつかの課題が挙げられていた。

過年度の船舶調査で特筆すべき点は、アクセス方法（利用形態）、ヒグマ対策の状況、ルサフィールドハウスへ立ち寄り状況、利用の心得・シレココの認知状況である。なお、10年間の調査データは全体で60組190名に上るため、2011年から2015年までと2016年から2020年までのそれぞれ5カ年に区切って考察した。

アクセス方法（利用形態）は、トレッキング（帰りは船の利用者も含む）の割合が2011年から2015年までで、全体の77.4%（24組）、2016年から2020年までで全体の75.9%（22組）であり、2016年からの5年間は2011年からの5年間と比較して概ね横ばいであった。次にシーカヤックの割合は2011年からの2015年までで全体の9.7%（3組）、2016年から2020年までで全体の20.7%（6組）であり、2016年からの5年間は2011年からの5年間よりも増加傾向であった。

ヒグマ対策の状況は、実施した割合が2011年から2015年までで全体の83.9%（26組）、2016年から2020年までで全体の82.8%（24組）であり、2016年からの5年間は2011年からの5年間と比較して概ね横ばいであった。10年間、8割を超える高い水準で利用者がヒグマ対策を実施していることが窺えた。

ルサフィールドハウスへ立ち寄り状況は、立ち寄った割合は2011年から2015年までで全体の31.0%（9組）、2016年から2020年までで全体の37.9%（11組）であり、2016年か

らの5年間は2011年からの5年間よりもやや増加傾向であった。一方で、10年間で6割の利用者がルサフィールドハウスに立ち寄っていないことも明らかとなった。

また、トレッキング利用者（帰りは船だった利用者も含む）がルサフィールドハウスへ立ち寄った割合は2011年から2015年までで全体の29.2%（7組）、2016年から2020年までで全体の50.0%（11組）で、2016年からの5年間は2011年からの5年間よりも増加傾向であり、2016年から2020年の間でトレッキングした利用者は、ルサフィールドハウスへ立ち寄ることを意識していることが窺えた。シーカヤック利用者がルサフィールドハウスへ立ち寄った割合は2011年から2015年までで全体の66.7%（7組）、2016年から2020年までで全体の0%（0組）で、2016年からの5年間は2011年からの5年間よりも減少傾向であった。減少傾向の要因として、シーカヤックの出艇場所が考えられる。シーカヤックでは相泊だけでなく斜里町ウトロからも出艇可能であり、事前にルサフィールドハウスを認知しないと立ち寄らずに出艇することになる。

10年間で立ち寄らなかった利用者をアクセス方法（利用形態）で見ると、トレッキング（帰りは船だった利用者も含む）が最も多く全体の38組中27組であり、次いでシーカヤックが7組、それ以外にゴムボート、観光船、プレジャーボート、ヨットがそれぞれ1組ずつの結果となった。漁船については、ルサフィールドハウスへの立ち寄りについて聞き取りできておらず、不明である。帰路の船舶利用など利用の心得に反する行為を行っている者については、ルサフィールドハウスに立ち寄っていない傾向が高いことが見受けられた。

利用の心得及びシレココの認知状況は「知っている」と回答した割合が2011年から2015年までで全体の74.2%（23組）、2016年から2020年までで全体の75.9%（22組）であり、概ね横ばいであった。ただし、10年間を通して7割以上の利用者が利用の心得及びシレココを認知していると回答したことから、ルサフィールドハウスと比較して認知されている様子が窺える。

2020年度の船舶調査及び入域調査の結果から、両調査では調査時間に対する回答率に大きな差はなかったものの、海況や天候などに左右されず、また長時間の調査が可能な入域調査において、多くの調査結果が得られることが明らかとなった。さらに過年度からの船舶調査結果の取りまとめから、これまでの利用状況に関する大きな傾向を把握することができた。今後は、調査対象や調査項目の見直しを行い、ターゲットを絞って詳細な調査を重ねることで、先端部地区の利用に関する詳細な動向の把握と今後の課題解決につなげる

ことができるであろう。例えば、調査項目については、アクセス方法（利用形態）や目的地、行動予定の部分でその他や不明の記載が減るよう、聞き取り方法や項目について工夫する必要がある。また、今回の船舶調査と入域調査、過年度の船舶調査においては、利用の心得及びシレココの認知状況と比較してルサフィールドハウスへの立ち寄りが少ない結果となったことから、利用者にとってWebでの情報収集が専らである様子が窺えた。利用者への情報提供については、Webにおける情報発信内容の見直しが必要である。一方で、最新情報の提供や収集のためにはルサフィールドハウスへの立ち寄りを促す必要があり、将来的には先端部を利用する前にルサフィールドハウスへ立ち寄る仕組みに繋がられるようにしていきたい。

## 添付資料

1. 知床半島先端部地区利用状況調査 船舶調査の実施データ
2. 知床半島先端部地区利用状況調査 入域調査の実施データ



1. 知床半島先端部地区利用状況調査 船舶調査及び徒歩調査の実施データ



トレッカー

整理No. )

日時：2020年 8 月 1 日【12:20～12:25】天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ溪・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：川本村 ヒアリング・目視

パーティの人数	1 人(男: 1 人)(女: 0 人)
年代	10代( 0 人)・20代( 0 人)・30代( 0 人)・40代( 0 人)・50代( 0 人) 60代( 1 人)・その他( 0 人)・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬 知床岳・その他( )・不明
行動予定	2泊3日【宿泊地: ベキンノ鼻】・不明 予備日: 有( / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( )・スプレー・フードコンテナ・くまずす・ホイッスル・不明
FHへの立ち寄り	無・有( )・不明
シレコ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( 1781年の雑誌を読んで以来の気付き )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他 ザックのカラー: 入林簿の記載: 有(無) 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林簿・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内 。
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

★ 8月2日 16:05 二本滝にて岬内後復路の当該者と再会。ベキンノ鼻南側に  
テントをテントしたとのこと。19時テント場着を目標に歩く予定。近畿クマは  
海岸側を渡渉する。

★ 8月2日 急坂をカマコ岩でヒグマを目視。30分程停滞した。

岩田  
整理No. 2

日時：2020年 8月 4日 [10:35-10:45] 天気：晴・曇り・雨  
 場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝  
 調査員：~~△~~ ヒナリング・目視

パーティの人数	1人(男) / 1人(女) (人)
年代	10代( )人・20代( )人・30代( )人・40代( )人・50代( )人 60代( )人・その他( )
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明
所属	<del>個人</del> ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬 知床岳・その他( )
行動予定	2泊3日 [宿泊地: 二本滝] 予備日: 有( )日間・無
ヒグマ対策の状況	無( ) 有( ) スプレー・フードコンテナ・くまずす
FHへの立ち寄り	無( ) 有( )
シレココ	知っている・知らない
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有( ) 無( ) 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

岩田  
整理No. 3

日時：2020年 9月 4日 [12:00 ~ 18:00] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：~~アサヒ~~ ウツハラ ⇄ エル岡 ヒアリング・目視

パーティの人数	1人 (男: 1人)(女: 0人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 1人)・50代( 人)・60代( 人)・その他( )
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明 東京
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )
行動予定	2泊3日(宿泊地: ) 予備日(有) 3日間・無
ヒグマ対策の状況	無・有 (スプレー・フードコンテナ・くまず 127ルシロカ 忘れず)
FHへの立ち寄り	無・有
シレココ	知っている・知らない
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他 (北海道の岬を知った)
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内 71 1/2 エル岡 1/3 岩田
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No.

日時：2020年 8月 5日 [15:00~15:59] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田・茂木 ヒザリノグ・目視

パーティの人数	1人(男: 1人)(女: 0人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 1人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・ <u>近畿</u> ・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・ <u>社会人山岳会</u> ・マスコミ・その他
アクセス方法	<u>トレッキング</u> ・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	<u>岬</u> ・知床岳・その他( )・不明
行動予定	2泊3日[宿泊地: <u>2泊10キユの森</u> ・ <u>2泊10キユの森</u> ] 予備日: <u>有</u> 1日間・無
ヒグマ対策の状況	無・ <u>有</u> (スズレ)・フードコンテナ・ <u>くまず</u> )・不明
FHへの立ち寄り	無・ <u>有</u> ・不明
シレココ	<u>知っている</u> ・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・ <u>TV</u> その他 ( <u>NHK BS 100% 山</u> )
自由欄	服装(色): <u>(5)ブルー</u> - <u>(7)黒</u> 身長: <u>160cm</u> 相泊までの移動手段: <u>車</u> ・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: <u>赤</u> 入林簿の記載: <u>有</u> ・無 [有の場合、詳細を記載] 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内・ <u>その他</u> <u>インターネット</u>  * ココA1 ID: 00200-062
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

## 2. 知床半島先端部地区利用状況調査 入域調査の実施データ



・ 2-10 やりこ

整理No. /

日時：2020年 7月 21日【4:30~4:45】天気：晴 曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：A

ヒアリング・目視

パーティの人数	/ 人 (男: / 人) (女: 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( / 人)・その他( )
居住地	<input checked="" type="checkbox"/> 北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明
所属	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・ <input checked="" type="checkbox"/> シーカヤック・ <input checked="" type="checkbox"/> 釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( <input checked="" type="checkbox"/> モイレウシカ <input checked="" type="checkbox"/> 19721岬 )
行動予定	泊 / 日【宿泊地: <input checked="" type="checkbox"/> 日帰り】 予備日: 有( 日間)・無
ヒゲマ対策の状況	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> スプレー・ <input checked="" type="checkbox"/> フードコンテナ・くまず )
FHへの立ち寄り	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有
シレココ	<input checked="" type="checkbox"/> 知っている・知らない
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他 ( <input checked="" type="checkbox"/> 地元 ( <input checked="" type="checkbox"/> 羅白山岳会 ) )
自由欄	服装(色): 上: 黄色、下: 赤色、紺色のキャップ・白のシーカヤック・インビル 服 身長: 160cm 程度 相泊までの移動手段: <input checked="" type="checkbox"/> 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: なし 入林簿の記載: 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内・なし <input checked="" type="checkbox"/> 倉田 580-889-04 30cc 軽自動車
	灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。

日時：2020年 7 月 21 日【5:20~5:30】天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：茂子 ヒアリング・目視

パーティの人数	/ 人 (男: / 人)(女: 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( / 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・ <u>近畿</u> ・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明
所属	<u>個人</u> ・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	<u>トレッキング</u> ・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・ <u>その他(大森山)</u> <u>レストン</u> 5:30~19:30予定
行動予定	泊 / 日【宿泊地: <u>自炊</u> 】 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有 ( <u>スプレー</u> )・フードコンテナ・くまず
FHへの立ち寄り	無・( <u>有</u> )
シレココ	<u>知っている</u> ・知らない
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): <u>上:赤色</u> 、 <u>下:黒色</u> 身長: <u>170cm</u> 代 相泊までの移動手段: 車・ <u>バイク</u> ・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: <u>黒色</u> ・ <u>20L 2SLポイ7</u> 入林簿の記載: ( <u>有</u> )・無 「有の場合、詳細を記載 <u>浪切 貞</u> 入林簿 四倍目 昭市 白原 4-12-23 計画書の提出先: 入林簿・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内 ( <u>有</u> )
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No. 3

日時：2020年 7月 21日【5:30~5:40】天気：晴(曇り) 雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：スズキ ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: 2人)(女: 人)
年代	10代(人)・20代(人)・30代(2人)・40代(人)・50代(人) 60代(人)・その他( )
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明
所属	個人 ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック 釣り(モイレウシ湾)・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他(モイレウシ湾に釣った魚を、サマの川で別の場所へ移動する)
行動予定	泊 日(宿泊地: 相泊) 予備日: 有(日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー)・フードコンテナ・くまず
FHへの立ち寄り	無・有(不明)
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

ウチ

整理No. 4

日時：2020年 7月 21日 [12:30~12:45] 天気 晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：天谷 ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: 2人)(女: 人)
年代	10代(人)・20代(人)・30代(人)・40代(人)・50代(2人) 60代(人)・その他( )
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明 東京都内、I-123
所属	個人 ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( 釣りから用いている。 )
目的地	岬・知床岳・その他( 羊島周回 )
行動予定	2泊3日(宿泊地相泊、2日8時1泊) 予備日: 有(日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー)・フードコンテナ・くまず 2本
FHへの立ち寄り	無・有
シレココ	知っている・知らない( 水3リ )
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( しんやまのえいせい )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月21日【9:15~10:00】 天気：晴・曇り・雨  
 場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝  
 調査員：女子 ヒアリング・目視

パーティの人数	1人(男: 1人)(女: 0人) とろろかし
年代	10代( 人)・20代( 1人)・30代( 1人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明 アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明 国内外不明
所属	個人 ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他
目的地	岬 知床岳・その他 不明
行動予定	泊 2日(宿泊地: 岬 2泊3日) 不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( スプレー・フードコンテナ・くまず ) 不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他 ( )
自由欄	服装(色): 上: 迷彩(赤と黒と黒と黒) 下: 黒・羊ズボン 身長: 170cm代 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他(シムル SOLIO ) ザックのカラー: 黄色のサブカバン(モンメル) 北見500巾91-48 入林簿の記載: 有( 無) 岬の問い合わせ Tel: 011-351-4011 Fax: 011-351-4012 「有の場合、詳細を記載 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内 (T&L) 前回 危険岩を進行した(いつの間にか不明)。
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 22 日 [10:50~11:05] 天気：晴・曇り・雨  
 場所：組泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝  
 調査員：⑤ ヒアリング・目視

パーティの人数	/ 人 (男: / 人) (女: / 人)
年代	10代( / 人)・20代( / 人)・30代( / 人)・40代( / 人)・50代( / 人) <u>60代( / 人)</u> ・その他( / 人)・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・ <u>近畿</u> ・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	<u>個人</u> ・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	<u>トレッキング</u> ・シーカヤック・釣り・その他( / )
目的地	岬・知床岳・ <u>その他(単独は外泊なので、誰れか一泊は控える)</u> ・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: / 不明】 予備日: 有( / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有 (スプレー・フードコンテナ・くまず)・ <u>不明</u>
FHへの立ち寄り	<u>無</u> ・有・不明 <u>後で要る</u>
シレココ	知っている・知らない・ <u>不明</u>
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV・ その他 ( / )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( / ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 22 日 [15:00~15:10] 天気：晴・曇り (雨)

場所：相模原・モイレウシ湾・ベッキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 (ヒアリング・目視)

パーティの人数	1 人(男: 1 人)(女: 0 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 人)・60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	(個人)・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	(トレッキング)・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	(岬) 知床岳・その他( )・不明
行動予定	宿泊 5日(宿泊地: 7/22 相模原にて 15:00から出陣)・不明 予備日 (有) / 日間)・無 11:00 出発予定
ヒグマ対策の状況	無・有 (スプレー)・フードコンテナ・くまずし)・不明
FHへの立ち寄り	無 (有)・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV (その他 ( )
自由欄	服装(色): オリーブ (上) グリーン 身長: 175cm 相泊までの移動手段: (車)・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 青 (傘のカラー) 入林簿の記載: 有 (無) 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林簿・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内 7/23 提出 7/23 相模原 天候が悪いため 1泊もして、本日7/23 相模原
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

7/2 14:20 戻り  
(途中で転倒してはい。大事をとって引退したと可)

日時：2020年 7 月 22 日 [17:58~18:15] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 ヒマリン 目視

パーティの人数	1 人 (男: 1 人)(女: 0 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 1 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	鯉・知床岳・その他( <del>知床岳</del> )・不明
行動予定	泊 4 日 [宿泊地: 7/23 代々木]・不明 予備日: 有( 1 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( スプレー・フードコンテナ・ますず )・不明
FHへの立ち寄り	無・有( )・不明
シレコ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 162 303 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( 90-12 ) ザックのカラー: 緑 303-7 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  7/23 620 代々木、途中で帰るかも!
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 23日【5:20~5:30】天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田

ヒアリング・目視

パーティの人数	3 人(男: 2 人)(女: 1 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他(魚が釣れる場所探してこませた)・不明
行動予定	泊 日(宿泊地: )・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No. 10

日時：2020年 7月23日【6:31~6:29】 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員： ヒマリング・目視

パーティの人数	2人(男: 2人)(女: 人)
年代	10代(人)・20代(人)・30代(人)・40代(人)・50代(人) 60代(2人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	3泊4日【宿泊地：1泊アラスカ、2泊夕雲、3泊オホシラカ】 不明 予備日：有( ) / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( ) (スプレー・フードコンテナ・くまらず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレコ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  ※7:35出発
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No. 11

日時：2020年 07 月 23 日 [6:21 ~ 6:29] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：60 ヒアリング・目視

パーティの人数	5人(男: 3人)(女: 2人) (男/女)
年代	10代( )人・20代( )人・30代(1人)・40代(2人)・50代( )人 60代(1人)・その他(70代以上) )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他 <input checked="" type="checkbox"/> 職員
アクセス方法	トレッキング・シー <input checked="" type="checkbox"/> カヤック・釣り・その他( )
目的地	<input checked="" type="checkbox"/> 岬・知床岳・その他(相泊アラスカ岩・2泊アラスカ岩・2泊知床岬) )・不明
行動予定	泊 <input checked="" type="checkbox"/> 日(宿泊地: )・不明 予備日: <input checked="" type="checkbox"/> 有 / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (スプレー・フードコンテナ・くまず )・不明
FHへの立ち寄り	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有・不明
シレココ	<input checked="" type="checkbox"/> 知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  ※ 職員山印巡視 7:35 出発
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 23日 [6:40~6:45] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：EΘ ヒアリング・目視

パーティの人数	1 人 (男: 1 人)(女: 0 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 1 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( 岬の釣れる場所 )・不明
行動予定	泊 日(宿泊地: )・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( ) (スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 [有の場合、詳細を記載 ] 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  マス釣り
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 23 日 [7:57~8:01] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 ヒアリング・目視

パーティの人数	1 人 (男: 1 人)(女: 0 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 1 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トロッピング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	泊 3 日 [宿泊地: 滝の下・2ヶ所] 不明 予備日: 有 1 日間・無
ヒグマ対策の状況	無・有 (有) (スプレー・フードコンテナ・くまず、フエ)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明 入林 岬内
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): オレンジ(白)ジャケット 身長: 180cm 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他(車 41-22) ザックのカラー: ライトグリーン ミユク-110- 入林簿の記載: 有・無 CROSSOVER 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No. 14

日時：2020年 7月 23日 [8:55~9:00] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：30 ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: 1人)(女: 1人)
年代	10代( )人・20代( )人・30代( 2人)・40代( )人・50代( )人 60代( )人・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他 <u>職員(B&amp;D)</u>
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( <u>登山</u> )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: 】・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( <u>スプレー</u> )・フードコンテナ・くまず )・不明
FHへの立ち寄り	<u>無</u> ・有・不明
シレココ	<u>知っている</u> ・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

16:35 相泊

整理No. 15

日時：2020年 7月 23日 [10:43~10:46] 天気：晴・曇り・**雨**  
 場所：**相泊**・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝  
 調査員：**八木** **ヒアリング**・目視

パーティの人数	1人(男: 1人)(女: 0人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( / 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	<b>北海道</b> ・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	<b>個人</b> ・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・ <b>釣り</b> ・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( <b>クズレハマ</b> )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: ]・不明 予備日: 有( 日間)・ <b>無</b>
ヒグマ対策の状況	<b>無</b> 有 (スプレー・フードコンテナ・くまず )・不明
FHへの立ち寄り	<b>無</b> 有・不明
シレココ	知っている・ <b>知らない</b> ・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他 ( <b>ずっと前から</b> )
自由欄	服装(色): <b>クロ、ブルー</b> 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 23 日 [18:00 ~ 18:05] 天気：晴・曇り (雨)

場所：(相泊) ・ モイレウシ湾 ・ ペキン浜 ・ 滝の下 ・ 二本滝

調査員： 八木 (アリンカ) ・ 目視

パーティの人数	2 人 (男: 2 人)(女: 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 2 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内(不明)・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・(釣り)・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( 相泊 (相泊港から本岬釣り船) )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: (相泊) 】【(不明) 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	(無)・有 (スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	(無)・有・(不明)
シレココ	知っている・知らない・(不明)
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 24 日 [7:09~17:15] 天気：晴・曇り・雨  
 場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝  
 調査員：志田 ヒアリング・目視

パーティの人数	2 人 (男: 1 人)(女: 1 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( / 人)・40代( / 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	2泊 3日【宿泊地：1泊 滝の下・2泊 岬】・不明 予備日：有( / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有( ) (スプレー・フードコンテナ・くまず) )・不明
FHへの立ち寄り	無・有( ) 不明 無し
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 白 花 グレー 白 身長: 170cm (男) 161cm (女) 北星 500 710cm 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他(1285-83) ザックのカラー: 赤 (男) 青 (女) 入林簿の記載: 有・無 [有の場合、詳細を記載] 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  ※ 女性の方が 江口 さんの 矢張り合 でした。
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月24日 [7:46~7:51] 天気：晴・曇り・雨

場所：相沢・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：田中 ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: 1人)(女: 1人)
年代	10代( )人・20代( )人・30代( / )人・40代( )人・50代( )人 60代( / )人・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	2泊3日[宿泊地: ]・不明 予備日: 有( / 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー・フードコンテナ・ますず・フエ)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明(11階)による
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサPHまたは羅白VC・TV その他( 岬をのりまかす )
自由欄	服装(色): 7" L- (茶) EOLの早 身長: 182cm 160 相泊までの移動手段: (車)・バイク・自転車・徒歩・その他( 139.1515 本機530 880-35 ) ザックのカラー: 茶色 黄色 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサPH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月27日【7:00~8:10】 天気：晴・曇り・雨

場所：植田・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：土 〇④ ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: / 人)(女: / 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 人) 60代( 2人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: 】・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有 (スプレー・フードコンテナ・くまらず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  75130316をするため様子を見に来た。
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月22日【11:40~11:50】 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：八木 ヒアリング・目視

パーティの人数	/ 人 (男: / 人)(女: 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( / 人)・50代( 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( 相泊まで )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: ]・不明 予備日: 有( 日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有 (スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

整理No. 21

日時：2020年 7月 24日【13:50～13:55】天気：晴・曇り・**雨**場所：**相泊**・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝調査員：**ハネ** **ヒヤリング**・目視

パーティの人数	1 人(男: 人)(女: 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 人)・40代( 人)・50代( 1 人) 60代( 人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・ <b>関東</b> ・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・ <b>釣り</b> ・その他( <b>登山</b> )
目的地	岬・知床岳・その他( <b>クズレハマ川、カモイケンベリ</b> )・不明
行動予定	泊 日【宿泊地: ]・不明 予備日: 有( 日間)・ <b>無</b>
ヒグマ対策の状況	無・ <b>有</b> (スプレー・フードヨシテナ・くまず <b>ナイフのみ</b> )・不明
FHへの立ち寄り	<b>無</b> ・有・不明 → <b>今回はなし(過去に有)</b>
シレココ	知っている・ <b>知らない</b> ・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): <b>グレー</b> 身長: 相泊までの移動手段: <b>車</b> ・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・ <b>無</b> 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内  <b>アライフッキング" 14:00に戻相泊</b>
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月 25日 14:30~15:30 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 ヒアリング・目視

パーティの人数	2人(男: 2人)(女: 人)
年代	10代(人)・20代(人)・30代(2人)・40代(人)・50代(人) 60代(人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他( 相泊岬 羅臼側 )・不明
行動予定	泊日【宿泊地: ( )】・不明 予備日: 有(日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明 今回はない(過去にあり)
シレコ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅臼VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅臼VC・車内  岬側は熊が怖くて行かない
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7 月 25 日 [ 6:25 ~ 6:45 ] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ベキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 ヒアリング・目視

パーティの人数	14 人 (男: 9 人) (女: 5 人)
年代	10代( 人)・20代( 人)・30代( 5 人)・40代( 2 人)・50代( 2 人) 60代( 1 人)・その他( (70代) 1 人 )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・カ(ドツアー)・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他 ( )
目的地	岬・知床岳・その他( )・不明
行動予定	泊 日 [ 宿泊地: 相泊 ]・不明 予備日: 有( 日間)・(無)
ヒグマ対策の状況	無・(有) (スプレー)・フードコンテナ・くまず・不明
FHへの立ち寄り	無・(有)・不明 (過えはよい)
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他 ( )
自由欄	服装(色): 身長: 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月 25日 [7:10 ~ 7:45] 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：吉田 エアリング ・ 目視

パーティの人数	2人(男: 1人)(女: 1人)
年代	10代(人)・20代(1人)・30代(1人)・40代(人)・50代(人) 60代(人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> ・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">トレッキング</span> ・シーカヤック・釣り・その他( )
目的地	岬・知床岳・その他(10ヶ所の岬)・不明
行動予定	1泊 日(宿泊地: 10ヶ所の岬)・不明 予備日: 有(日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> (スプレー)・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">フードコンテナ</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">ますず</span> ・不明
FHへの立ち寄り	無・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> ・不明
シレココ	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">知っている</span> ・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	<p>服装(色): 全黒 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 赤 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 青</p> <p>身長: 180 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 150 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 160</p> <p>相泊までの移動手段: (車)・バイク・自転車・徒歩・その他(10ヶ所の岬)</p> <p>ザックのカラー: 黒 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 青 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">♀</span> 赤</p> <p>入林簿の記載: <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span>・無</p> <p>「有の場合、詳細を記載」</p> <p>計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内</p>
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

日時：2020年 7月 25日 (9:40~9:17) 天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：JP ヒアリング・目視

パーティの人数	2人 (男: 2人)(女: 人)
年代	10代(人)・20代(人)・30代(人)・40代(人)・50代(2人) 60代(人)・その他( )・不明
居住地	北海道・東北・関東・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	個人・ガイドツアー・大学ワングル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	トレッキング・シーカヤック・釣り・その他(散策(様子見))
目的地	岬・知床岳・その他(相泊)・不明
行動予定	泊日【宿泊地: 相泊】・不明 予備日: 有(日間)・無
ヒグマ対策の状況	無・有(スプレー・フードコンテナ・くまず)・不明
FHへの立ち寄り	無・有・不明
シレココ	知っている・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( )
自由欄	服装(色): 黒・赤 身長: 175・180 相泊までの移動手段: 車・バイク・自転車・徒歩・その他( ) ザックのカラー: 入林簿の記載: 有・無 「有の場合、詳細を記載」 計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	



整理No. 27

日時：2020年 7月 25日【12:00~12:03】天気：晴・曇り・雨

場所：相泊・モイレウシ湾・ペキン浜・滝の下・二本滝

調査員：八木 ヒズリナ・目視

パーティの人数	1人(男: / 人)(女: / 人)
年代	10代( / 人)・20代( / 人)・30代( / 人)・40代( / 人)・50代( / 人) 60代( / 人)・その他( / 人)・不明
居住地	北海道・東北・ <u>関東</u> ・中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄 国内不明・アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア・海外不明・国内外不明
所属	<u>個人</u> ・ガイドツアー・大学ワンゲル・社会人山岳会・マスコミ・その他
アクセス方法	<u>トレッキング</u> ・シーカヤック・釣り・その他( / )
目的地	岬・知床岳・その他( <u>念仏岩</u> )・不明
行動予定	2泊3日[宿泊地: <u>モイレウシ</u> ]・不明 予備日: <u>有</u> 2日間・無
ヒグマ対策の状況	無・ <u>有</u> (スプレー・ <u>フードコンテナ</u> ・ <u>ます</u> )・不明
FHへの立ち寄り	無・ <u>有</u> ・不明
シレココ	<u>知っている</u> ・知らない・不明
岬を知ったきっかけ	インターネット・知人・書籍系・ルサFHまたは羅白VC・TV その他( / )
自由欄	<p>服装(色): <u>灰(上)、青(下)</u> 7/26 出発予定</p> <p>身長:</p> <p>相泊までの移動手段: <u>車</u>・バイク・自転車・徒歩・その他( / )</p> <p>ザックのカラー: <u>緑</u></p> <p>入林簿の記載: <u>有</u>・無 → ネットで出ている</p> <p>「有の場合、詳細を記載」</p> <p>計画書の提出先: 入林箱・警察・海保・ルサFH・羅白VC・車内</p> <p style="text-align: right;">世田谷310 オ-563 スシル アクトバング シムバ</p>
灰色部分は必ず聞き取りしてください。相手に余裕があれば、灰色以外の項目も聞き取りしてください。	

令和 2 年度 環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所 請負事業

事業名：令和 2 年度 知床半島先端部地区利用状況調査

事業期間：令和 2 (2020) 年 7 月 9 日～令和 2 (2020) 年 12 月 1 日

事業実施者：公益財団法人 知床財団

〒099-4356

北海道斜里郡斜里町大字遠音別村字岩宇別 531 番地



リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料（A ランク）のみを用いて作製しています。